

前	奏	黙想	祈	禱	
招	詞	ヨエル書 2:12~13a	讃	美	歌 515 十字架の血に
讃	美	歌 58 かみよ、みまえに	献	金	
祈	禱		讃	詠	547 いまささぐるそなえものを
信仰告白	使徒信条	566	黙	禱	
聖	書	イザヤ書 53:11	主の祈り		564
		ルカによる福音書 9:18~23	頌	栄	544 あまつみたみも
讃	美	歌 239 さまよう人々	祝	禱	
説	教	『キリストと共に自分の十字架を』	後	奏	

イエスは弟子たちに問う。「群衆は、わたしのことを何者だと言っているか(ルカ9:18)」。弟子たち答えた。「洗礼者ヨハネだ」、天に昇った初期預言者の「エリヤだ」、「昔の預言者が生き返った」と、人々は言い合っている(9:19)。もし皆さんの目の前にイエスが現れ、「教会ではわたしのことを何者だと言っているか」と尋ねられたら、どう答えるだろうか。「貧しく虐げられた者の友」、「世の罪が赦されるために十字架にかかった方」、「復活され今は聖霊として私たちと共におられる方」と答えるか。

イエスは弟子たちに重ねて問う。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか(9:20)」。ペトロは「神からのメシアです(9:20)」と答え、他の弟子もそう思っていただろう。イエスは私たちにも尋ねる。「十字架も、復活も、聖霊もその通りだが、君たちはそれをホントに信じているのか」と。

私たちはハッとす。十字架や復活にどれほどリアリティを感じるか、ではなく、「お前さん自身の心で、その身でちゃんと受け取っているかね」と問われて狼狽する。教会で教えられた事を「信じているだけ」ではないのか、という懸念。とはいえ、私たちは傍観者ではない。現にこうして、教会という「キリストの体」の一部として生きている。何かしらキリストの働きの当事者になっているのだ。教えられて信じている事か、自分でこの身に感じている事なのかは、切り分けることができない。

「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか(9:20)」。私たちも弟子たちのように、キリストの体の「当事者」として、自分自身の事として問われている。イエスとは、はたして何者なのか。ペトロは「神からのメシアです(9:20)」と答え、弟子たちも同じだった。私たちもまた「メシアです」と答えるだろう。だがイエスは弟子たちを戒め、「このことをだれにも話さないように命じた(9:21)」。

「人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日目に復活することになっている(9:22)」。「メシア」であることの、恐ろしい命運。マタイとマルコ両福音書の同場面では、悲惨な結末の告知にたまりかねたペトロがそれを諫め、こっぴどく叱られる。

私たちは安全な場で、「十字架」を神の栄光として讃える。だが隅々まで当事者であった弟子にしてみれば、希望のメシアが、「排斥されて殺される」なんてことは受け入れがたい。しかし隠されているメシアは、「必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺される(9:22)」所までやって来る。すると「メシア」の実体が、暗闇の中で大きく振動する(マタイ27:45~46, 51~52)。

誰がイエスを殺すのか。「長老、祭司長、律法学者」、すなわち信仰の指導者だ。皮肉なことに信仰指導者のおぞましい悪意によって「メシア/救い主キリスト」が完遂する。いや正確に言えば、神の御手は、そんな「悪」さえをも用いて、全人間の「罪」をもひっくり返して、世の救いを実現させる。

「わたしの僕は、多くの人が正しい者とされるために、彼らの罪を自ら負った(イザヤ53:11)」。私たちは「キリストの体」の当事者であるゆえに、私の罪まで負って下さる「神の僕」に従う。神の僕イエスは従う弟子に言う。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい(ルカ9:23)」。キリストが共にいるから十字架を負いうる(マタイ6:5~6)。日々、負いうる。

自分の十字架 一人ひとりの使命や個性や罪性だけの事ではない イエスの十字架と一つになる事
十字架でキリストの死と復活の姿にあやかる(マタイ6:5) 日々自分の十字架を負いつつあやかっていく

本日 2:30~4:30 分区役員研修会(愛宕町教会)。2/25(水)1:00~3:00 マリア・マルタの会(手仕事を
楽しむ教会カフェ)。次主日 3/1 の礼拝後に役員会、カレーの日です。どなたでも遠慮なくどうぞ。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。